

「健康で丈夫な歯」への取組みについて

問 食育の基本は、健康で丈夫な歯であると考え

る。学校教育ではどのような取組みがされているか。また、フッ素洗口が虫歯を防ぐ有効な方法であると聞くが、これまでの取り組みと今後の見通しを伺う。

答 給食後の歯みがき指導、学校保健委員会の実施、啓発広報活動などを行っている。フッ化物洗口は三谷東小の1、2年生で実施している。今後は各学校ごとに学校側と保護者と話し合い、フッ化物洗口を実施するか決めていきたい。

庄田博己（未来の会）

政策決定プロセスの透明化について

問 市が政策決定していく中で、意見を諮問するため協議会、審議会等

を設けている。その審議内容は公開が前提でなければならぬと思うが現状はどうか。また、協議会等の委員に

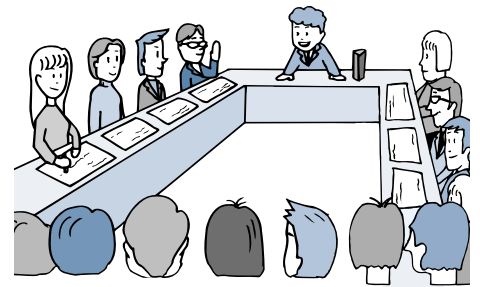
女性が少なく、その年齢層が偏っていると思われるが、世代間についてはどのように考えているか。

答 現在、市長の諮問機関である協議会等の情報公開の状況はおおむね50%程度である。

今後、開かれた市政を展開・発展させていくためにも原則公開の方向で対応していきたい。

ただし協議会等の性格、活動内容、構成メンバーによつては、公開することがかえって会議が十分機能しない場合も考えられる。この点にも配慮しながら進めていきたい。

女性委員の登用率は、現



在13・6%で、22年までに30%を目指している。また、女性のいない審議会等の解消にも努めたい。

また、各世代均衡のとれた委員配置ができるよう取り組んでいきたい。

その他の質問

1 蒲郡競艇周辺対策運営協議会について

日恵野佳代（日本共産党）

高齢者福祉と介護保険

問 10月から介護保険3施設

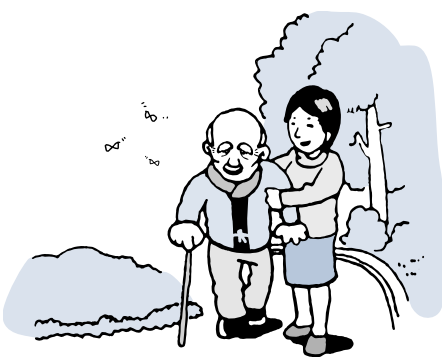
の居住費と食費、シヨーステイの滞在費と

食費、デイサービス、デイケアの食費が自己負担となるが、その費用はいくらになるか。また、施設利用者の何割の方の負担が増えるのか伺う。

さらに、低所得者の負担軽減を図るため、国の制度に上乗せした市独自の軽減を行うよう求める。

答 居住費の基本費用額で月額最高6万円、食費は月額最低1万円から最高4万2千円となり、全入所者の63%が負担増となる見込みである。

低所得者には基準負担額との差を補足的給付として介護保険で給付することとなっており、市独自の支援策は考えていない。



問 岩手県一関市では、地元資源である温泉を利用した予防教室を機に介護

予防教室の立ち上げを促し、参加者数も増えている。蒲郡市でも高齢者の閉じこもり予防対策として、温泉を利用した介護予防など新たな教室に取り組み考え

があるか伺う。

答 温泉を観光だけでなく、市民の健康にも役立つことができれば一石二鳥であり、実施可能かどうか観光協会等と検討していく。

大場久充（市政クラブ）

女性専門外来の設置は

問 女性の役割は、子育てにとどまらず、家庭の外に出て働くことが当然になつてきている。そうした

多様化したライフスタイルをもつ女性の健康をどうやって維持していくか、男性と同じにはとても考えられない。

また、患者の出入りが多い一般外来では話しづらい相談があるといわれている。